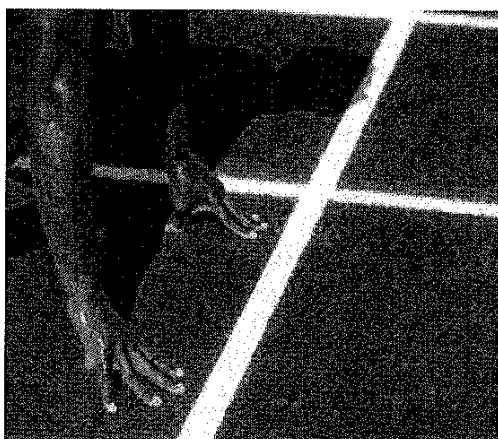


臨床実習開始前の学生評価のための共用試験システム
～ 第1回トライアルにあたって ～

臨床実習開始前の共用試験システムとは？

臨床実習開始前の学生評価のための共用試験システムは、医・歯学生のみなさんが、医療チームの一員として診療に参加する診療参加型の臨床実習を行うため、必要な態度・技能・知識が備わっているかについて、CBTとOSCEを用いて評価するものであり、「医学・歯学教育の在り方に関する調査研究協力者会議」等によりその必要性が指摘された、社会的に注目度の高い試験です。

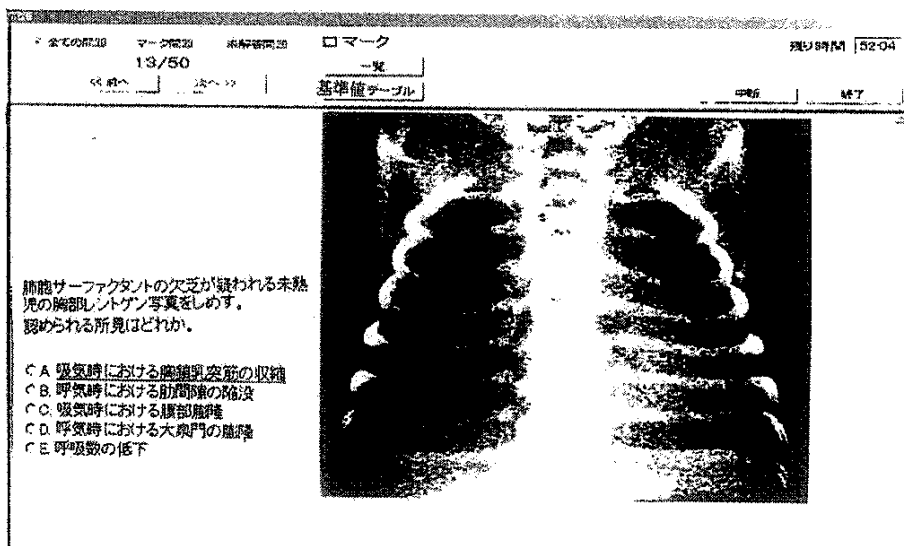


この試験は、参加を希望する各大学によって運営され、その使い方については各大学に委ねられています。

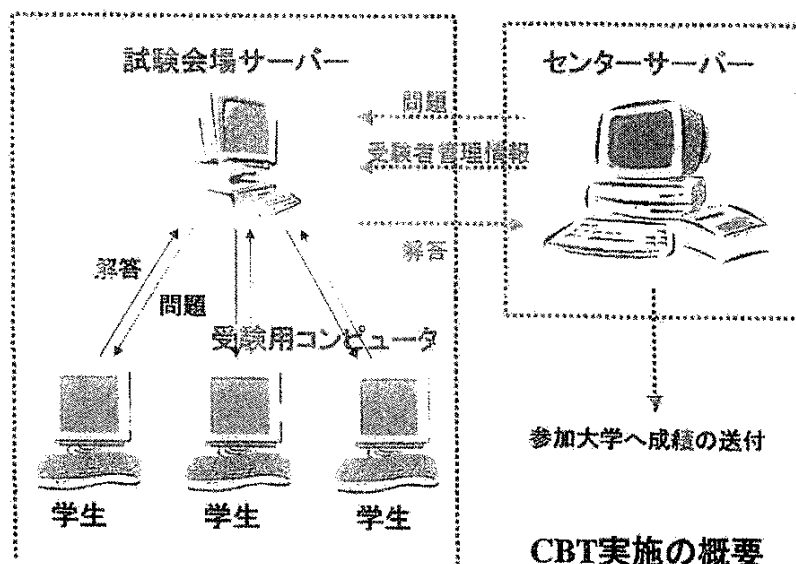
CBT (computer based testing)

共用試験は、2つの試験方法を用いてみなさんの態度・技能・知識を評価するものであり、そのうちのひとつがCBT (computer based testing) です。共用試験におけるCBTは、下の画面のようにコンピュータに映し出される多肢選択型の問題の、正解と思われる選択肢をクリックすることによって解答するものです。

「医学教育モデル・コア・カリキュラム」「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」の体系に基づいて作成され、共用試験システムのセンターサーバーに蓄積された 医学約3000、歯学約1000 の問題が各大学のサーバーに送られ、その中から一人一人まったく異なった100題が受験用コンピュータに送信されます。第1回トライアルにおいては、みなさんにこの100題を約2時間にわたり回答していただく予定です。



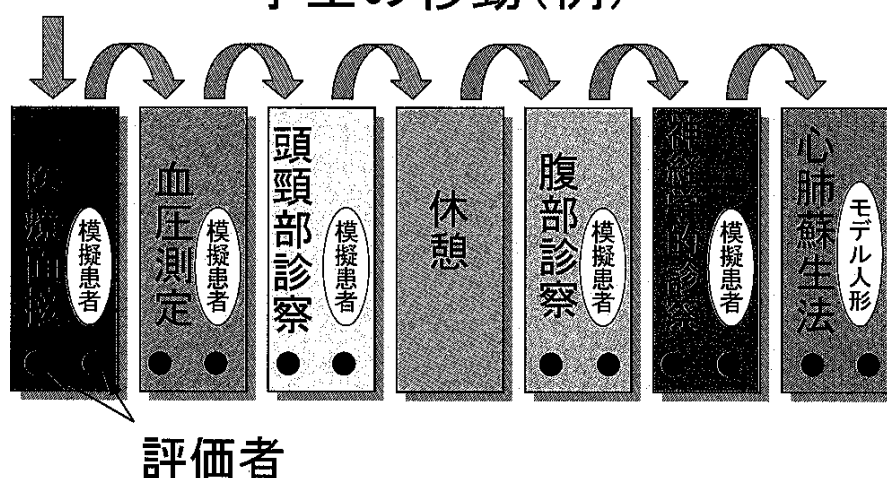
※問題の内容は共用試験とは無関係です。



OSCE (objective structured clinical examination)

共用試験に用いられるもう一つの試験方法が、OSCE (objective structured clinical examination) です。OSCEとは、複数のステーション（試験場）を使用して、1ステーションあたり5分から10分程度の時間内に臨床能力の評価を行うための試験です。共用試験においては、学生を評価する評価者が大学間で相互に乗り入れることによって、外部評価者による客観的な評価を行えるようにします。今回の第1回トライアルにおいては、12医科大学6組においてこの相互乗り入れが行われます。歯学OSCEに関しても、課題内容やマニュアルについての検討が行われています。

OSCEのステーションの配置と 学生の移動(例)



第1回トライアル

共用試験については、平成17年に本格実施を開始する予定ですが、共用試験を有効なものにするため、その実施前に、CBT用の問題のプールや、システムの稼働確認などの必要な準備を行う必要があります。

第1回のトライアルは、その準備を目的としたものであり、みなさんの協力が今後の医学教育・歯学教育に大きく寄与します。

協力のお願い

共用試験の成功は、今後の医学・歯学教育の改善の鍵を握る重要なものであり、参加校一同全力を挙げてそのために取り組んでいるところですが、この試験の精度を上げることは、医・歯学生のみなさんの協力なくしてはできません。また、第1回トライアルに参加することは、自分の態度・技能・知識の到達度を図るためにも非常に有用です。

是非積極的にご参加いただき、今後の医・歯学教育の質の向上に貢献していただきたいと思います。

なお、CBT試験の素点につきましては、後日大学にお知らせする予定にしております。



※「医学・歯学教育の在り方に関する調査研究協力者会議」の報告書及び「医学教育モデル・コア・カリキュラム」「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」の内容については、

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/010/index.htm

の【答申】をご覧ください。

※ 各大学における実施の詳細は所属大学の教務担当者にお問い合わせでご確認下さい。

臨床実習開始前の学生評価のための
共用試験システムに関する研究班